

学年通信

—宮市立奥中学校
第2学年 若狭宿泊学習号
令和8年6月15日(月)

若狭宿泊学習を終えて

若狭に吹く奥中の風
—仲間と踏み出す絆の
JUMP—

梅雨の晴れ間の青空に、夏の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先日、2年生は1泊2日の「若狭宿泊学習」に行っていました。事前学習から当日の活動、そして事後の振り返りに至るまで、生徒たちは「自分たちで考えて行動する」を目標に、本当に一生懸命取り組みました。若狭の豊かな自然の中、学校の教室では見られないような生き生きとした表情がたくさん見られました。特に印象的だったのは、カッター漕艇でのコマです。

「イチッ」「そーれ!」「がんばれ!」「あと少し!」

苦しいときにお互いを励まし合う声が、自然と沸き起こっていました。一人の遅れをみんなでカバーし、一つの目標に向かって全員で力を合わせる姿に、2年生としての強い絆と頼もしさを感じました。また、あいさつ先手、時間を守ること、公共のマナーを意識することなど、集団行動としての課題にも自分たちで気づき、声を掛け合って修正していく場面もありました。

今年度は2日目に「総合的な学習の時間」の一環として、「探究学習」の現地調査を行いました。新たな取り組みへのチャレンジでしたが、4つの探究テーマに分かれて、事前学習での課題、仮説の設定を入念に行い、当日は各施設で充実した現地調査活動を行うことができました。学校に戻り、現地調査の結果から追調査とまとめを行い、今月末には校内での発表会を予定しています。引き続き、お子様の頑張りを支えていきたいと思っております。

この宿泊学習を通して、生徒たちは「協調性」と「自立心」という、これからの学校生活、そして未来においてとても大切な宝物を手に入れたと感じています。お家に戻られたお子様のご様子はいかがでしたでしょうか。ぜひ、お土産話を聞いていただき、頑張ったところをたくさん褒めてあげてください。今回の経験を大きな自信に変え、これからの学校生活や部活動でも、2年生が学校の「中心」となって活躍してくれることを期待しています。保護者の皆様には、事前の体調管理や荷物の準備、そして当日の送迎など、多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



行事予定表、各種配布物は書面での配付と「tetoru」で配信します。
学校HP(右QRコードを参照)には学校でのお子様の様子を掲載しますのでご覧ください。



歴史・伝統・文化グループ



若狭宿泊学習では、友達と協力したり、楽しんだりして、絆を深めることができました。特にカッター漕艇では、同じ艇の仲間とタイミングを合わせて漕ぎ、面白さと難しさを味わうことができました。歴史博物館では、小浜と京都とのつながりを知ることができました。

地域・観光グループ



1日目のカッター漕艇では、みんなと協力することの大切さを学びました。とても大変でしたが、仲間との絆が深まったと思います。2日目は敦賀市内に行きました。普段できない地域の方々からお話を聞くことができ、自分たちの考えを深めることができました。

科学・エネルギーグループ



2日間の宿泊学習で、「考えて行動する」ことを学びました。自分たちで次のことを考え、いつ、何をすればよいのかを意識して、「考動」できたと思います。若狭の自然やエネルギー資源について、大学の教授からお話を聞き、より知識を深めることができました。

環境・海洋グループ



バス車内では、クイズなどのレクを楽しみました。部屋では、普段関わる機会が少ない友達ともたくさんお話しして、楽しい時間を過ごすことができました。探究学習では、三方五湖を見て、若狭の海について理解を深めることができました。リフトに乗って楽しかったです。